

横浜市立桜丘高等学校とシューレ・アム・リードが 海外姉妹校提携しました！

フランクフルト市の
総合高校です

横浜市とフランクフルト市とのパートナー都市交流の一環として、11月14日（火）、横浜市立桜丘高等学校とフランクフルト市の総合高校であるシューレ・アム・リードは姉妹校として提携しました。

今後両校では、生徒の相互派遣を実施し、部活動の体験やホームステイなどを通じて、生徒間、学校間の相互理解と友情を深めてまいります。

横浜市立桜丘高等学校は、昭和2（1927）年に市立実科高等女学校として開校し、今年創立90周年を迎えました。『知育』『徳育』『体育』の調和的伸長を図ることを学校教育目標に掲げ、『進学指導重点校』（平成24年度指定）としての高い学力を育てるとともに、自主自立の尊重や個性・能力の伸長、創造力・実践力の養成にも力を入れており、生徒の規範意識や倫理観のある情操豊かな人間性を養う教育を実践しています。90年という長い歴史の中で、25,000人を超える卒業生を送り出しています。



今年90周年を迎えた
桜丘高等学校の校舎

1 姉妹校提携に関する合意書の内容（要旨）

今般結んだ友好関係が、将来にわたり強固で有意義なものとなるよう努力します。また、この合意が、日本とドイツ連邦共和国両国の若者の自国文化発信や外国の文化の理解に対する意欲向上を促し、今後さらなる相互理解と親善を推進できるものと期待します。

多くの若者がこの後に続き、地球規模の相互理解を深め、世界平和に貢献することを期待します。

2 シューレ・アム・リード（the Schule am Ried（リード校））の概要

ドイツの教育は卒業後の進路に合わせて「ハウプトシューレ」、「リアルシューレ」と「ギムナジウム」の3つの課程に分かれています。リード校はこれらの3つの課程を合わせた総合学校です。

日本語や日本文化を学べる部活があります。このほか、ソフトテニス、オーケストラ、合唱団、スポーツなど幅広く部活があり、また、ヨーロッパ数か国及び米国の学校との交流もあります。

3 両校校長のコメント

(1) 横浜市立桜丘高等学校 中島 久男 校長

本校創立90周年を機に、両校が姉妹校の提携を行うことを大変うれしく思います。今後、さまざまな交流を通じて、生徒がさらに異文化を理解し、国際社会に貢献できる人材となることを期待します。

(2) シューレ・アム・リード クリストフ・ガンス 校長

この度の姉妹校締結について、大変光栄に思っております。本校の生徒並びに本校のすべての関係者にとって、大変素晴らしい機会であると考えております。日本の文化及び日本人の皆様の大変温かいおもてなしに深く感銘し、両市の若者にも交流プログラムを通して深い結びつきを感じられる経験をさせたいと思っております。

4 今後の交流予定

平成30年度から、生徒の相互派遣を実施する予定です。

お問合せ先

市立高校の海外姉妹校提携について

教育委員会事務局高校教育課長

西村 英純

Tel 045-671-3289

フランクフルト市との交流全般について

国際局国際連携課欧州米州担当課長

長久 伸子

Tel 045-671-3813

【参考】

1 姉妹校提携署名の様子（平成 29 年 11 月 14 日（火））



横浜市立桜丘高等学校の中島久男校長が署名した合意書を持って横浜市フランクフルト事務所職員が、シューレ・アム・リードを訪問し、クリストフ・ガンス校長が署名を行いました。

（※写真のデータが必要な場合は、高校教育課までご連絡ください。）

2 シューレ・アム・リードの様子



授業風景



林市長訪問の様子（平成 23 年 11 月）

また、平成 28 年 10 月には、シューレ・アム・リードの生徒 11 名が横浜を訪問し、市立みなと総合高等学校と学校交流を行いました。

3 横浜市とフランクフルト市とのパートナー都市連携

横浜市とフランクフルト市は、平成 23（2011）年 9 月に、経済、温暖化対策、文化芸術創造都市の分野を中心に連携を深めるとともに、市民、特に若い世代の交流の促進を目指し、「パートナー都市」として提携しました。

市民交流では「横浜日独協会」による高校生の相互訪問プロジェクトや「横浜フランクフルト友好委員会」による「横浜市世界を目指す若者応援事業」を活用した市内高校生のフランクフルト研修など、若い世代の交流を促進しています。